

2014年3月期第3四半期決算 主要建設会社決算分析

2014年3月13日



RICE

一般財団法人 **建設経済研究所**

〒105-0003 東京都港区西新橋3-25-33NP御成門ビル8F

Tel: 03-3433-5011 Fax: 03-3433-5239

URL: [http:// www.rice.or.jp](http://www.rice.or.jp)

◆目 次

1. 調査の目的
2. 分析対象会社
3. 報告要旨
4. 主要分析結果
 - ① 受注高
 - ② 売上高
 - ③ 売上総利益
 - ④ 販売費及び一般管理費
 - ⑤ 営業利益
 - ⑥ 経常利益
 - ⑦ 特別利益・特別損失
 - ⑧ 当期純利益
 - ⑨ 有利子負債
 - ⑩ 自己資本比率・デットエクイティレシオ
5. 参考資料

◆1. 調査の目的

一般財団法人建設経済研究所では、1997年より主要建設会社の財務内容を階層別に経年比較分析することにより、建設業の置かれた経済状況とそれに対する各企業の財務戦略の方向性について、継続的に調査しています。

今回の発表は、各社の決算短信等から判明する2014年度3月期第3四半期決算の財務指標の分析を提示するものです。なお、一部の分析対象会社については2013年度12月期第3四半期決算を採用しています。

資料の提供を頂いた各社には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

(お問合せ先) 一般財団法人 建設経済研究所
総括研究理事 大野 雄一
研 究 員 中西慎之介
海老澤 剛

電話：03-3433-5011 FAX：03-3433-5239

◆2. 分析対象会社

(1) 対象会社の抽出

全国的に業務展開を行っている総合建設会社を念頭に、以下の要件に該当し、過去直近3年間の連結売上高平均が上位の39社を抽出した。

- ① 建築一式・土木一式の売上高が恒常的に5割を超えていること。
- ② 会社更生法、民事再生法などの倒産関連法規の適用を受けていないこと。
- ③ 非上場等により決算関係の開示情報が限定されていないこと。

(2) 階層分類

売上高規模別に、以下の3つの階層に分類した。

2013年度

階層	連結売上基準 (3年間平均)	分析対象会社	社数
大手	1兆円超	鹿島建設、清水建設、大成建設、大林組	4社
準大手	2,000億円超	長谷工コーポレーション、戸田建設、安藤ハザマ、五洋建設、前田建設工業、三井住友建設、西松建設、熊谷組、東急建設	9社
中堅	2,000億円以下	奥村組、東亜建設工業、浅沼組、鉄建建設、銭高組、東洋建設、ナカノブドー建設、飛鳥建設、大豊建設、福田組、青木あすなろ建設、ピーエス三菱、東鉄工業、松井建設、名工建設、大本組、矢作建設工業、大和小田急建設、新日本建設、若築建設、北野建設、不動テトラ、大末建設、第一建設工業、南海辰村建設、徳倉建設	26社

※一部の分析項目については、開示していない企業もあるため、対象企業が39社に満たないものがある。

※受注高は原則として単体で集計しているが、東鉄工業、矢作建設工業、不動テトラ、南海辰村建設（いずれも中堅）は連結数値にて集計した（単体は非公表）。

※ピーエス三菱の11年度以降は連結数値、大和小田急建設の09年度は連結数値。

◆3. 報告要旨

- 受注高は、緊急経済対策（平成 24 年度補正予算）に伴う公共工事の増加、景況感の改善に伴う民間建築工事の増加や消費増税前の駆け込み需要などを背景に、全階層で大幅な増加となり、受注環境は回復基調が継続している。
- 売上高は、手持ち工事が着実に進捗したことに加え、好調な受注を背景に手持ち工事が増加したことにより全階層で増加した。通期の売上予想達成に向けては、通期予想達成度は前年同期実績を上回っているものの、労務需給逼迫を懸念材料に挙げる声も聞かれた。
- 営業利益は、売上総利益の大幅な増加に加え販管費も減少した「準大手」、「中堅」が大幅に増加した一方、売上総利益が減少した「大手」は悪化した。政府による緊急経済対策などを背景に、円安・株高が進行し、為替差損益の改善、及び有価証券評価・売却損益の改善もあり、当期純利益は全階層で増加した。
- 「大手」については来期、再来期にかけて不採算工事の解消を見込む企業も出てきており、「準大手」、「中堅」については既に解消が進んでいるが、資機材価格の上昇、労務需給逼迫による労務費の上昇が常態化しており、採算改善に向けた今後の動向には引き続き注視が必要である。

◆4. 主要分析結果

① 受注高（単体）

【 受注高合計 】

受注高／前年同期比（増加率）

単位：百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
		（増加率）		（増加率）		（増加率）		（増加率）
09年度3Q	2,446,762		1,569,207		1,295,083		5,311,052	
10年度3Q	2,483,222	1.5%	1,559,862	▲ 0.6%	1,295,486	0.0%	5,338,570	0.5%
11年度3Q	2,857,631	15.1%	1,646,159	5.5%	1,247,207	▲ 3.7%	5,750,997	7.7%
12年度3Q	2,786,042	▲ 2.5%	1,644,403	▲ 0.1%	1,460,493	17.1%	5,890,938	2.4%
13年度3Q	3,668,408	31.7%	2,274,829	38.3%	1,859,071	27.3%	7,802,308	32.4%

今年度予想／達成度（大手）

単位：百万円

	受注予想額	達成度
13年度通期予想	4,565,000	80.4%

■受注高は、建築、土木共に大きく伸び、総計で前年同期比 32.4%増となった。これは過去 5 年間で最高の水準である。

■全ての企業が前年同期比で増加し、「大手」では全 4 社、「準大手」は 9 社中 8 社、「中堅」は 26 社中 21 社と多くの企業で二桁の増加となった。

【 建築 】

受注高／前年同期比（増加率）

単位：百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
		（増加率）		（増加率）		（増加率）		（増加率）
09年度3Q	1,881,318		1,071,388		688,699		3,641,405	
10年度3Q	1,872,224	▲ 0.5%	1,124,659	5.0%	770,082	11.8%	3,766,965	3.4%
11年度3Q	2,058,078	9.9%	1,120,709	▲ 0.4%	708,361	▲ 8.0%	3,887,148	3.2%
12年度3Q	2,142,571	4.1%	1,157,484	3.3%	836,145	18.0%	4,136,200	6.4%
13年度3Q	2,769,964	29.3%	1,596,015	37.9%	1,054,215	26.1%	5,420,194	31.0%

今年度予想／達成度（大手）

単位：百万円

	受注予想額	達成度
13年度通期予想	3,465,000	79.9%

※建築部門集計は建築部門のない不動産（中堅）を除いて集計。

■建築部門の受注高は、景況感の改善に伴う民間建築工事の増加や消費増税前の駆け込み需要などを背景に、全階層で前年同期比二桁の増加となり、総計では 31.0%増と大幅な増加となった。

■全 38 社中 34 社が前年同期比で増加し、「大手」では全 4 社、「準大手」では 9 社中 8 社、「中堅」では 25 社中 18 社で二桁の増加となった。

【 土 木 】

受注高／前年同期比(増加率)

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
		(増加率)		(増加率)		(増加率)		(増加率)
09年度3Q	514,997		483,521		538,360		1,536,878	
10年度3Q	492,888	▲ 4.3%	412,398	▲ 14.7%	498,630	▲ 7.4%	1,403,916	▲ 8.7%
11年度3Q	704,823	43.0%	492,213	19.4%	512,501	2.8%	1,709,537	21.8%
12年度3Q	559,225	▲ 20.7%	460,616	▲ 6.4%	595,824	16.3%	1,615,665	▲ 5.5%
13年度3Q	790,251	41.3%	656,026	42.4%	766,706	28.7%	2,212,983	37.0%

今年度予想/達成度(大手) 単位:百万円

	受注予想額	達成度
13年度通期予想	965,000	81.9%

- 土木部門の受注高は、緊急経済対策（平成 24 年度補正予算）の本格実施に伴う公共工事の増加を背景に、総計で前年同期比 37.0%増となった。「中堅」が 3 期連続で増加したのに加え、「大手」、「準大手」も増加に転じ、全階層で大幅な増加となった。
- 全階層で大幅な増加となった一方で、「準大手」は 9 社中 2 社、「中堅」は 26 社中 6 社が減少となったが、この中には受注が好調であった前年度の反動減も見られた。

② 売上高（連結）

売上高／前年同期比(増加率)

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
		(増加率)		(増加率)		(増加率)		(増加率)
09年度3Q	4,357,880		2,155,471		1,754,492		8,267,843	
10年度3Q	3,455,924	▲ 20.7%	2,035,431	▲ 5.6%	1,604,906	▲ 8.5%	7,096,261	▲ 14.2%
11年度3Q	3,644,287	5.5%	2,057,522	1.1%	1,534,115	▲ 4.4%	7,235,924	2.0%
12年度3Q	3,914,866	7.4%	2,247,230	9.2%	1,561,649	1.8%	7,723,745	6.7%
13年度3Q	4,168,041	6.5%	2,379,847	5.9%	1,786,210	14.4%	8,334,098	7.9%

今年度予想/達成度

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	売上高	達成度	売上高	達成度	売上高	達成度	売上高	達成度
12年度通期実績	5,765,863	67.9%	3,240,499	69.3%	2,335,121	66.9%	11,341,483	68.1%
13年度通期予想	5,980,000	69.7%	3,319,000	71.7%	2,528,100	70.7%	11,827,100	70.5%

- 売上高は、手持ち工事が着実に進捗したことに加え、好調な受注を背景に手持ち工事が増加したことで全階層とも堅調に増加し、総計で前年同期比 7.9%増となった。
- 通期予想達成度については、総計で前年同期実績を 2.4%ポイント上回っている。
- 今年度通期の売上高予想を達成する上で、資機材・技能労働者の不足等を懸念材料に挙げる声が聞かれた。

③ 売上総利益（連結）

売上総利益／前年同期比(増加率)／売上総利益率 単位:百万円

	大手		準大手			中堅			総計		
	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率		売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率		
09年度3Q	303,283	(増加率)	162,141	(増加率)	7.5%	146,381	(増加率)	8.3%	611,805	(増加率)	7.4%
10年度3Q	318,806	5.1%	164,758	1.6%	8.1%	144,226	▲ 1.5%	9.0%	627,790	2.6%	8.8%
11年度3Q	293,595	▲ 7.9%	148,476	▲ 9.9%	7.2%	106,134	▲ 26.4%	6.9%	548,205	▲ 12.7%	7.6%
12年度3Q	307,550	4.8%	98,043	▲ 34.0%	4.4%	100,850	▲ 5.0%	6.5%	506,443	▲ 7.6%	6.6%
13年度3Q	306,684	▲ 0.3%	169,741	73.1%	7.1%	138,916	37.7%	7.8%	615,341	21.5%	7.4%

- 総計では、売上総利益は前年同期比 21.5%増、利益率は同 0.8%ポイント上昇した。
- 「大手」については、依然として不採算工事の影響が残っており、利益率は前年同期比 0.5%ポイント低下し、利益額は同▲0.3%となった。
- 「準大手」、「中堅」は両階層ともに利益率が改善し、前年同期比でそれぞれ 2.7%ポイント、1.3%ポイント上昇した。利益額については、「準大手」は 73.1%増、「中堅」は 37.7%増と大幅な増加となった。
- 利益額について、「大手」は 4社中 2社、「準大手」は全 9社、「中堅」は 26社中 24社が増益となった。
- 利益率について、「準大手」は 9社中 8社、「中堅」は 26社中 19社が上昇した。一方、「大手」は 4社中 3社の利益率が低下したものの、2013年度第 2 四半期と比較すると、全 4社で改善傾向にある。
- 量にこだわらず質を重視した選別受注による不採算工事の徹底排除等により売上総利益は全体的に改善傾向にあるものの、資機材費・労務費の上昇や前期までの不採算工事の影響も依然として存在しており、今後の動向には引き続き注視が必要である。

④ 販売費及び一般管理費（連結）

販管費／前年同期比(増加率)／販管費率 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計					
	販管費	販管費率	販管費	販管費率	販管費	販管費率	販管費	販管費率				
09年度3Q	235,685	(増加率)	5.4%	131,248	(増加率)	6.1%	115,348	(増加率)	6.6%	482,281	(増加率)	5.8%
10年度3Q	227,197	▲ 3.6%	6.6%	120,130	▲ 8.5%	5.9%	110,766	▲ 4.0%	6.9%	458,093	▲ 5.0%	6.5%
11年度3Q	225,495	▲ 0.7%	6.2%	112,659	▲ 6.2%	5.5%	105,355	▲ 4.9%	6.9%	443,509	▲ 3.2%	6.1%
12年度3Q	224,754	▲ 0.3%	5.7%	115,338	2.4%	5.1%	100,117	▲ 5.0%	6.4%	440,209	▲ 0.7%	5.7%
13年度3Q	224,645	▲ 0.0%	5.4%	114,129	▲ 1.0%	4.8%	99,148	▲ 1.0%	5.6%	437,922	▲ 0.5%	5.3%

■販管費は、全階層で小幅な減少となり、総計は前年同期比▲0.5%となった。

■販管費率は、売上高が増加した影響もあり、全階層で低下し、総計は前年同期比 0.4%ポイント低下した。

⑤ 営業利益（連結）

営業利益／前年同期比(増加率)／営業利益率 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計					
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率				
09年度3Q	67,598	(増加率)	1.6%	30,893	(増加率)	1.4%	31,028	(増加率)	1.8%	129,519	(増加率)	1.6%
10年度3Q	91,609	35.5%	2.7%	44,627	44.5%	2.2%	33,452	7.8%	2.1%	169,688	31.0%	2.4%
11年度3Q	68,098	▲ 25.7%	1.9%	35,812	▲ 19.8%	1.7%	779	▲ 97.7%	0.1%	104,689	▲ 38.3%	1.4%
12年度3Q	82,793	21.6%	2.1%	▲ 17,294	赤字転落	▲ 0.8%	727	▲ 6.6%	0.0%	66,226	▲ 36.7%	0.9%
13年度3Q	82,037	▲ 0.9%	2.0%	55,606	黒字転換	2.3%	39,759	5,365.8%	2.2%	177,402	167.9%	2.1%

■総計では、営業利益は前年同期比約 2.7 倍となり、利益率は同 1.2%ポイント上昇した。

■売上総利益の大幅な増加に加えて販管費が減少した「準大手」、「中堅」は営業利益、利益率ともに上昇した。一方、売上総利益が減少した「大手」は営業利益、営業利益率ともに低下した。

■営業利益が増加（もしくは営業赤字幅が縮小）したのは、「大手」は 4 社中 2 社、「準大手」は全 9 社、「中堅」は 26 社中 25 社であり、多くの企業が利益を増加させた。

⑥ 経常利益（連結）

経常利益／前年同期比（増加率）／経常利益率

単位：百万円

	大手		準大手		中堅		総計		
	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	
09年度3Q	85,224	(増加率)	25,785	(増加率)	28,562	(増加率)	139,571	(増加率)	
		2.0%		1.2%		1.6%		1.7%	
10年度3Q	83,588	▲ 1.9%	37,403	45.1%	31,265	9.5%	152,256	9.1%	
		2.4%		1.8%		1.9%		2.1%	
11年度3Q	70,756	▲ 15.4%	30,878	▲ 17.4%	▲ 7	赤字転落	101,627	▲ 33.3%	
		1.9%		1.5%		▲ 0.0%		1.4%	
12年度3Q	95,895	35.5%	▲ 17,022	赤字転落	▲ 0.8%	黒字転換	81,524	▲ 19.8%	
		2.4%		▲ 0.8%		0.2%		1.1%	
13年度3Q	102,148	6.5%	59,625	黒字転換	2.5%	41,290	1,457.7%	203,063	149.1%
		2.5%		2.5%		2.3%		2.4%	

■ 総計では、経常利益は前年同期比約 2.5 倍となり、利益率は同 1.3%ポイント上昇した。

■ 「大手」、「中堅」は 2 期連続で増加し、「準大手」も黒字転換となった。

■ 「大手」は営業利益が減少したものの、円安が進んだことに伴い為替差益（約 84 億円、前年同期比 68 億円増）を計上したこともあり、経常利益は増加した。

※ 為替差損益は、為替差益－為替差損で算定。今回本文中での「差益」の表現は、この損益差額のプラスを指す。ただしこの計上は各社の分類によるものであり、為替差損益に該当するものでも企業によっては「その他」等ここで挙げていない項目に含めているものがある。

⑦ 特別利益・特別損失の内訳（連結）

単位：百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	12年度3Q	13年度3Q	12年度3Q	13年度3Q	12年度3Q	13年度3Q	12年度3Q	13年度3Q
特別利益	10,010	10,238	1,552	26,203	1,496	6,345	13,058	42,786
投資有価証券売却益	4,507	9,095	491	4,429	362	3,903	5,360	17,427
固定資産売却益	4,394	658	306	9,422	514	1,440	5,214	11,520
負ののれん益	0	0	0	10,579	288	2	288	10,581
特別損失	14,620	4,253	7,121	3,300	4,070	2,333	25,811	9,886
投資有価証券評価損	8,705	25	3,968	100	1,573	178	14,246	303
固定資産除却損	0	18	69	258	163	436	232	712
減損損失	0	2,486	63	1,055	59	388	122	3,929

■ 株式市況の好転により、全階層とも投資有価証券評価損が大幅に減少し、一部の企業では投資有価証券の売却により、売却益が大幅に増加した。

■ 「準大手」の 1 社は、合併に伴い約 106 億円の「負ののれん益」を計上している。

※ 為替差損益同様、上記の特別利益・損失の内訳は各社の分類によるものであり、企業によっては、上記項目に該当するものでも、「その他」等ここで挙げていない項目に含めているものがある。

⑧ 当期純利益（連結）

	大手		準大手		中堅		総計	
	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率
09年度3Q	65,087	(増加率)	16,574	(増加率)	5,203	(増加率)	86,864	(増加率)
10年度3Q	53,051	▲ 18.5%	28,981	74.9%	10,622	104.2%	92,654	6.7%
11年度3Q	5,940	▲ 88.8%	5,425	▲ 81.3%	▲ 8,795	赤字転落	2,570	▲ 97.2%
12年度3Q	50,514	750.4%	▲ 48,968	赤字転落	▲ 6,245	-	▲ 4,699	赤字転落
13年度3Q	59,569	17.9%	68,981	黒字転換	31,056	黒字転換	159,606	黒字転換

■総計では、当期純利益は3期ぶりに増加し、黒字転換となった。利益率は前年同期比2.0%ポイント上昇した。

■「大手」は2期連続で増加し、「準大手」、「中堅」は黒字転換となった。

■当期純利益が増加（もしくは当期赤字幅が縮小）したのは、「大手」は4社中2社、「準大手」は全9社、「中堅」は26社中24社であり、当期純損失を計上したのは、「中堅」で3社あった。

⑨ 有利子負債（連結）

	大手		準大手		中堅		総計	
	有利子負債	(増加率)	有利子負債	(増加率)	有利子負債	(増加率)	有利子負債	(増加率)
09年度3Q	2,281,163	(増加率)	830,670	(増加率)	562,930	(増加率)	3,674,763	(増加率)
10年度3Q	1,982,395	▲ 13.1%	722,398	▲ 13.0%	479,024	▲ 14.9%	3,183,817	▲ 13.4%
11年度3Q	1,968,163	▲ 0.7%	679,335	▲ 6.0%	438,445	▲ 8.5%	3,085,943	▲ 3.1%
12年度3Q	1,743,105	▲ 11.4%	641,380	▲ 5.6%	405,406	▲ 7.5%	2,789,891	▲ 9.6%
13年度3Q	1,768,719	1.5%	628,173	▲ 2.1%	392,786	▲ 3.1%	2,789,678	▲ 0.0%

	大手		準大手		中堅		総計	
	有利子負債	(増加率)	有利子負債	(増加率)	有利子負債	(増加率)	有利子負債	(増加率)
12年度末実績	1,614,477	(増加率)	548,103	(増加率)	379,137	(増加率)	2,541,717	(増加率)
13年度3Q	1,768,719	9.6%	628,173	14.6%	392,786	3.6%	2,789,678	9.8%

■有利子負債は、総計で前年同期比ほぼ横ばいとなった。減少したのは、「大手」は4社中2社、「準大手」は9社中5社、「中堅」は26社中10社であった。

■「準大手」、「中堅」が前年同期比でマイナスとなったのに対し、2013年度第2四半期末から有利子負債を増加させた「大手」については、4期ぶりに増加に転じた。

■前期末対比では、総計で9.8%増となった。増加したのは「大手」は4社中2社、「準大手」は9社中7社、「中堅」は26社中9社であった。

■長期的には有利子負債は減少傾向が続いている。

⑩ 自己資本比率・デットエクイティレシオ（連結）

自己資本比率／前年同期比(増加ポイント)

	大手		準大手		中堅		総計	
	比率	増加(P)	比率	増加(P)	比率	増加(P)	比率	増加(P)
09年度3Q	18.1%		24.1%		27.1%		21.4%	
10年度3Q	19.6%	1.5	26.4%	2.3	31.3%	4.1	23.7%	2.3
11年度3Q	18.4%	▲ 1.2	25.3%	▲ 1.1	31.7%	0.4	22.7%	▲ 1.0
12年度3Q	20.7%	2.3	24.3%	▲ 1.0	32.6%	0.9	23.9%	1.3
13年度3Q	23.5%	2.8	26.6%	2.3	34.3%	1.7	26.4%	2.4

デットエクイティレシオ／前年同期比(増加ポイント)

	大手		準大手		中堅		総計	
	レシオ	増加(P)	レシオ	増加(P)	レシオ	増加(P)	レシオ	増加(P)
09年度3Q	1.81		1.12		0.84		1.37	
10年度3Q	1.66	▲ 0.15	0.99	▲ 0.13	0.68	▲ 0.15	1.21	▲ 0.16
11年度3Q	1.76	0.11	0.98	▲ 0.02	0.67	▲ 0.01	1.25	0.04
12年度3Q	1.40	▲ 0.36	0.96	▲ 0.01	0.58	▲ 0.09	1.06	▲ 0.19
13年度3Q	1.14	▲ 0.26	0.80	▲ 0.16	0.49	▲ 0.09	0.88	▲ 0.18

■自己資本比率は、自己資本の増加により、全階層で比率が上昇している。

■デットエクイティレシオは、自己資本の増加により、総計で0.18ポイント低下し、全階層で財務体質の改善が進んでいる。

※自己資本比率は、自己資本÷総資産で算出。デットエクイティレシオは、有利子負債÷自己資本で算出。

◆5. 参考資料

●受注高(建築・土木:合計)増加率 (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	0	0	0	4	4
準大手	0	0	1	8	9
中堅	0	0	5	21	26
総計	0	0	6	33	39

●受注高(建築)増加率 (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	0	0	0	4	4
準大手	1	0	0	8	9
中堅	1	2	4	18	25
総計	2	2	4	30	38

※建築部門集計は建築部門のない不動産テトラ（中堅）を除いて集計。

●受注高(土木)増加率 (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	0	0	1	3	4
準大手	0	2	2	5	9
中堅	3	3	4	16	26
総計	3	5	7	24	39

●売上高増加率(連結) (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	0	0	3	1	4
準大手	0	3	2	4	9
中堅	1	2	3	20	26
総計	1	5	8	25	39

●売上総利益／利益率増加率(連結) (単位:社)

	利益減少		利益増加		合計
	利益率低下	利益率上昇	利益率低下	利益率上昇	
大手	2	0	1	1	4
準大手	0	0	1	8	9
中堅	2	0	5	19	26
総計	4	0	7	28	39

●営業利益(連結) (単位:社)

	減少	増加	合計
大手	2	2	4
準大手	0	9	9
中堅	1	25 (2)	26 (2)
総計	3	36 (2)	39 (2)

※ カッコ内は営業赤字

●経常利益(連結) (単位:社)

	減少	増加	合計
大手	2	2	4
準大手	0	9	9
中堅	2	24 (2)	26 (2)
総計	4	35 (2)	39 (2)

※ カッコ内は経常赤字

●当期純利益(連結) (単位:社)

	減少	増加	合計
大手	2	2	4
準大手	0	9	9
中堅	2	24 (3)	26 (3)
総計	4	35 (3)	39 (3)

※ カッコ内は当期赤字

●有利子負債(連結)／前年同期比(増加率) (単位:社)

	ゼロで不変	減少	横ばい	増加	合計
大手	0	2	0	2	4
準大手	0	5	0	4	9
中堅	4	10	1	11	26
総計	4	17	1	17	39

●有利子負債(連結)／前期末実績比 (単位:社)

	ゼロで不変	減少	横ばい	増加	合計
大手	0	2	0	2	4
準大手	0	2	0	7	9
中堅	5	12	0	9	26
総計	5	16	0	18	39